

赤とんぼよ永遠に 露風の母 碧川かた物語

『碧川かた』の歌の第1節
幸多かれとかたと名付けられた
の
三木節次郎と結婚したわ
二人の子供は私の宝
舅は息子と別れて自立せよと
幼い操を龍野に残し
勉を連れて鳥取へと悲しい旅

作詞 浜田多代子

作曲 田中洋一



碧川 かた

たつの市で三木露風の母「碧川かた」をNHKの朝ドラの主人公にする会が発足している。設立発起人は瀧口節子氏。

NHKの朝ドラに採択されるには相当の努力と時間がかかる。しかし、「赤とんぼ」の作詞で有名な三木露風の母・碧川かたは朝ドラにふさわしい女性である。

「かたの会」はたつの市民の多くの方にこの主人公のことを知ってほしいと、いろいろな活動をしている。浜田多代子脚本家による演劇が上演された。

さらに「碧川かた」の歌をつくらうと、地元のフォークソンググループ「ひとつ山こえてみよう会」の守谷忠彦氏に依頼した。氏は、作詞を浜田氏に作曲を田中



浜田多代子氏と守谷忠彦氏

洋一氏に依頼して歌が完成した。

歌は10月8日(月)の「たつのソングス感謝コンサート」で披露された。三木露風の母は後に日本史に名を残す活動をした。詳細は「かたの会」事務局、ガリアアーツ&ティーにあるかたの会入会案内を参照。

事務局 Tel 0791-63-3666

【取材・文責：山本健一】

認知症の進行を生きがいでSTOP! NPO法人播磨オレンジパートナー

「オレンジリング」を知っていますか。認知症サポーターの証です。9月21日は世界アルツハイマーの日です。龍野城下町には20軒の兵庫認知症サポートの店があり、はばタンのステッカーには《認知症になっても安心して暮らせる街をみんなで目指しています》《認知症サポーターがいます》と書いてあります。住み慣れた町の中で、認知症の人たちが心豊かに暮らせるために播磨オレンジパートナーの人たちは地道に働いてくださっています。

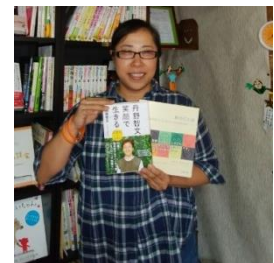


はばタンステッカーの店

代表理事の丸尾とし子さんは「認知症は誰にでもなる可能性があり、私たちは認知症を恐れたり怖がったりします。現在でも完治することはありませんが、認知症の方は自分で考える力、作る力を活性化させ、楽しく生きることによって症状を遅らせることが出来るのです。私たちは皆様のパートナーとして安心して暮らせるように共に勉強しています」と包み込むような優しい目で話されました。

事業内容

- ①当事者支援（生きがいある暮らしを支援）
 - ・仲間づくり（毎週1）音楽療法・作業療法・園芸療法（進行防止）
 - ・認知症に関する図書館（誰でも自由に）
- ②認知症にやさしい街づくり



代表理事の丸尾とし子氏

（認知症サポート店の普及活動）

- ・安心安全に住める街づくり
- ③認知症の人を支援する人材の育成（専門家による支援量アップ）
- ・サポーターの育成講座と仲間づくり交流会

【問い合わせ】

播磨オレンジパートナー

Tel 0791-62-2410（代表）

★どんな些細なことでも構いませんので連絡をお待ちしています。

【取材・文責：浜田多代子】